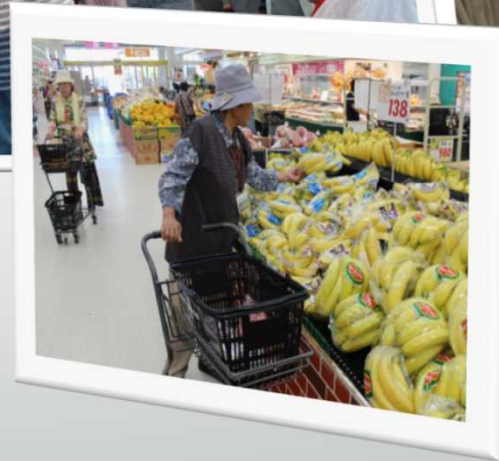


令和元年度第2回九州厚生局地域共生セミナー ～ドライブサロン事業の取組について～



社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会

鹿屋市の概要

【位置】 鹿屋市は、本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点となっています。

【地勢】 市域北部には、日本の自然百選にも選ばれている壮大な高隈山系市域北東部は山林地帯となっています。

また、その南側には、国営第1号の畑地かんがい施設をもつ笠野原台地や肝属平野が広がり、市域中央部にかけて平坦地が続いています。市域西部は、錦江湾に面しており、美しい海岸線が見られ、さらに、市域南部は、神代三山陵の一つである吾平山上陵を有する山林地帯となっています。

【面積】 総面積：448.33km²

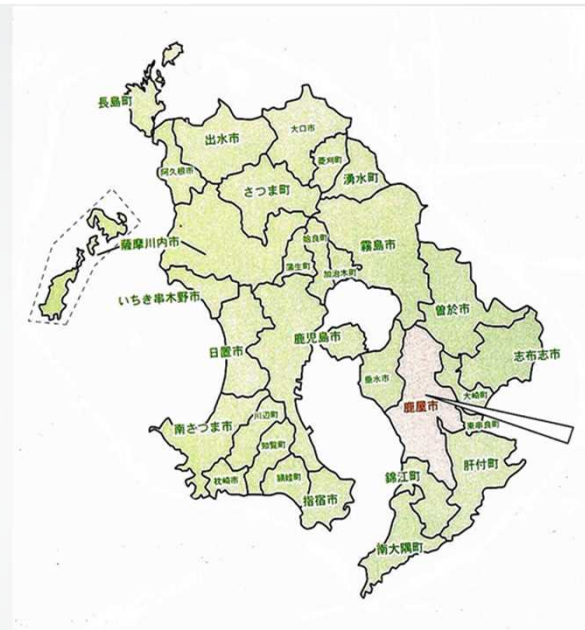
【人口】 総人口：101,640人 世帯数：45,681世帯

高齢化率：28.86%

【主な福祉施設】

- ①特別養護老人ホーム 8か所
- ②養護老人ホーム 1か所
- ③児童養護施設 1か所
- ④乳児院 1か所
- ⑤障害児福祉施設 1か所
- ⑥障害者福祉施設 5か所
- ⑦保育所 39か所

(令和元年5月1日現在) 2



生活支援型にご協力いただいている施設

※令和元年5月1日現在

①社会福祉法人愛光会

障害者支援施設桜町学園



②社会福祉法人恵仁会

特別養護老人ホーム鹿屋長寿園



③社会福祉法人永生会

特別養護老人ホーム慈恵園



④社会福祉法人以和貴会

特別養護老人ホーム以和貴苑



⑤社会福祉法人恵友会

特別養護老人ホーム花岡の里



⑥社会福祉法人愛光会

総合サポートセンターラン



ドライブサロン(生活支援型)のこれまでの主な経過

年 月	内 容
H 2 6 . 4	鹿屋市へドライブサロン事業を企画し提案
H 2 6 . 8	社会福祉法人の地域貢献活動について桜町学園より社協へ相談
H 2 6 . 9	九州運輸局鹿児島運輸支局にドライブサロン事業について相談
H 2 6 . 1 1	桜町学園に対しドライブサロン事業を提案
H 2 7 . 1	北花岡地区においてパイロット事業開始(桜町学園) 1/15~3/31
H 2 7 . 2	鹿屋市地域公共交通会議及び鹿屋市地域公共交通活性化協議会でドライブサロン事業を説明、意見聴取
H 2 7 . 4	北花岡地区においてドライブサロン本格始動(桜町学園)
H 2 7 . 1 0	高隈地区においてドライブサロン開始(鹿屋長寿園)
H 2 8 . 8	大始良地区(獅子目)においてドライブサロン開始(慈恵園)
H 2 9 . 3	串良地区においてドライブサロン開始(以和貴苑)
H 2 9 . 8	花里・根木原地区においてドライブサロン開始(花岡の里)
H 2 9 . 1 1	大始良地区(飯隈・南)においてドライブサロン開始(ラン)

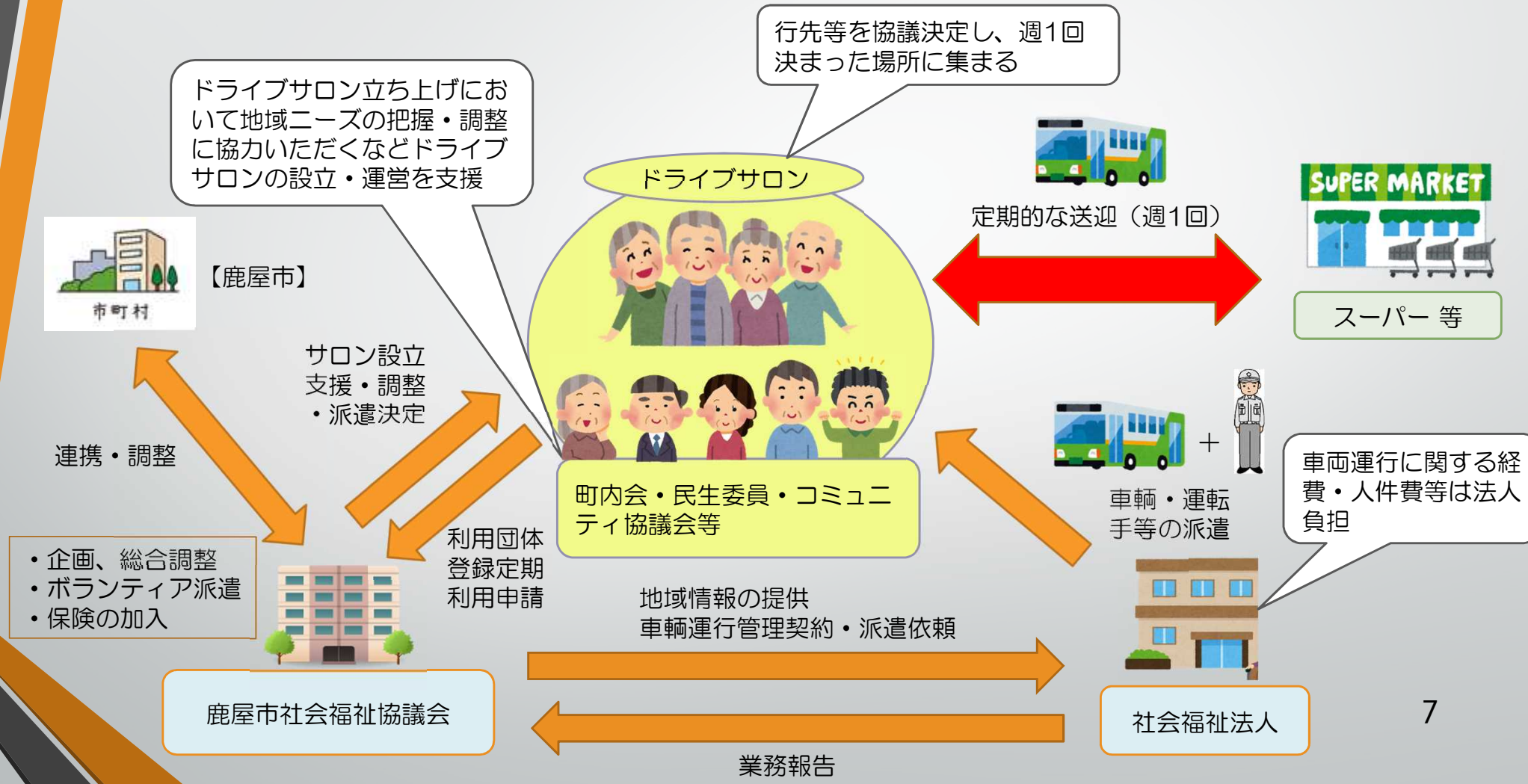
ドライブサロン事業の基本的条件

- 1 社会福祉法人から車輛と運転手をセットで派遣していただき送迎を行う。
- 2 車輛の運行管理に関する必要経費（車輛費・燃料代・保険料ほか）は社会福祉法人で負担し、料金は無料。
- 3 生活支援が目的の一つであるため、週1回同じ場所で同じ時間、同じ曜日に定期的に送迎する。
- 4 買い物先は、参加者で話し合い選定していただく。
所要時間2～3時間程度の範囲内での活動とする。
- 5 サロンの場所（集合）は参加者で決める。原則として各個人宅への送迎は行わない。
- 6 業務終了後、社会福祉法人は社協へ活動報告書を提出する。
無断欠席等があった場合、社協へ連絡し民生委員や緊急連絡先へ連絡する。

ドライブサロンに期待する効果

- 1 高齢者の閉じこもり予防や孤独感の解消
- 2 利用者の安否や健康状態の定期的な確認
- 3 利用者の生活実態の把握
- 4 利用者の生きがいづくり
- 5 地域と福祉施設の連携促進
- 6 社協と福祉施設の連携強化
- 7 福祉施設等の地域貢献促進 など

ドライブサロンのイメージ



ドライブサロン開始までの主な手順

1	対象地域のニーズ及び公共交通機関（バス路線・運行時刻等）の把握
2	選定地域の町内会や民生委員等へ事業説明，了解を得る
3	対象者の抽出（民生委員・自治会・地区コミュニティ協議会等）
4	ドライブサロンの住民説明会
	・参加者の決定、サロン立ち上げ、代表者の決定
	・集合時間、集合場所、買い物先の決定
5	経路確認，運行時間確認，買い物先との調整
6	保険加入（共同募金の財源を活用）
7	協力法人と運行管理契約書の締結
8	ドライブサロン事業開始
9	施設からの活動業務報告等

地域住民への説明会

対象地区で住民説明会を実施。
社会福祉法人も出席していただくことで
地域住民との顔つなぎにもなり安心して
いただくことができた。

活動の要望等もこの中であげていただき、
直接施設と調整することができた。
買い物先や日時， 集合場所等地域住民で
話し合っ決めていただいた。



保険について

利用者



ふれあいサロン・社協行事用保険

①補償対象・・・参加者がケガや事故にあった場合の補償

②補償額等・・・

死亡保険金	210万円
後遺障害保険金	210万円（限度額）
入院保険金日額	2,800円ほか

※乗車時以外の買い物等
（乗車時の交通事故は法人の自動車保険を適用）

法人の賠償
責任



福祉サービス総合補償（社協も含めそれぞれの法人で加入）

事業のルールについて

事業のルール等を明記したものが必要であることから、協力法人と社協との間（高
隈地区はコミュニティ協議会も含めた3者）で「**車両運行管理契約**」を締結

ドライブサロン出発式



花岡地区



高隈地区



大始良(獅子目)地区



串良地区



花里・根木原地区



大始良(飯隈・南)地区



バスの待ち合い



いよいよ出発です♪



車内の様子



買い物風景

☆平成30年10月9日 スタート！

生きがいづくり型ドライブサロン

平成30年10月9日からは、吾平地域において、新たに1社会福祉法人のご協力をいただき、市内外の名所・観光地への遠足と買い物と組み合わせた「生きがいづくり型ドライブサロン」をスタートしました



生きがいづくり型ドライブサロンで新たにご協力いただいている福祉施設

社会福祉法人 岳風会
障害者支援施設 陵北荘



生きがいづくり型ドライブサロンの概要

- ☆ 対象地域 鹿屋市吾平町全域
- ☆ 対象者 おおむね65歳以上の高齢者(高齢者サロン27サロンの参加者等)
- ☆ 実施回数 毎月2回(1回3~4時間程度)
- ☆ 参加費等 無料
- ☆ 1回あたりの参加者数 40名(毎回1~3サロンが参加)

※行先等については、参加者の意向を踏まえ、社協で調整する。



車いすもOK!



バスの待ち合い



いよいよ出発です



桜島をバックに



楽しみな昼食とお買い物



ドライブサロン実施地図 (町内会)

ドライブサロン種別

生活
支援型

生きがい
づくり型

①北花岡
桜町学園 (H27. 4~)

②高隈
長寿園 (H27. 10~)

⑤花里
花岡の里 (H29. 8~)

⑥根木原
花岡の里 (H29. 8~)

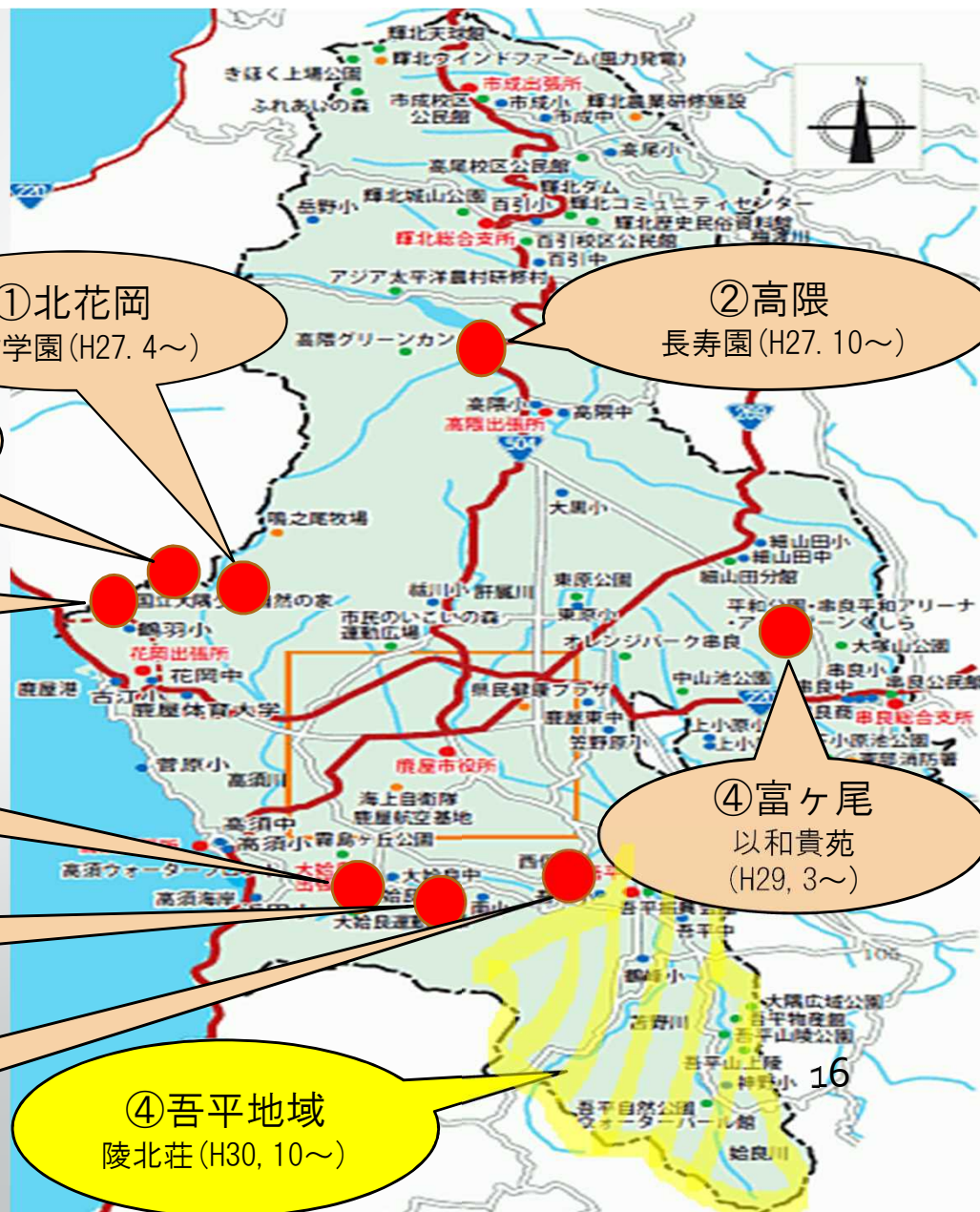
③獅子目
慈恵園 (H28. 8~)

④富ヶ尾
以和貴苑
(H29. 3~)

⑦南
ラン (H29. 11~)

⑦飯隈
ラン (H29. 11~)

④吾平地域
陵北荘 (H30. 10~)

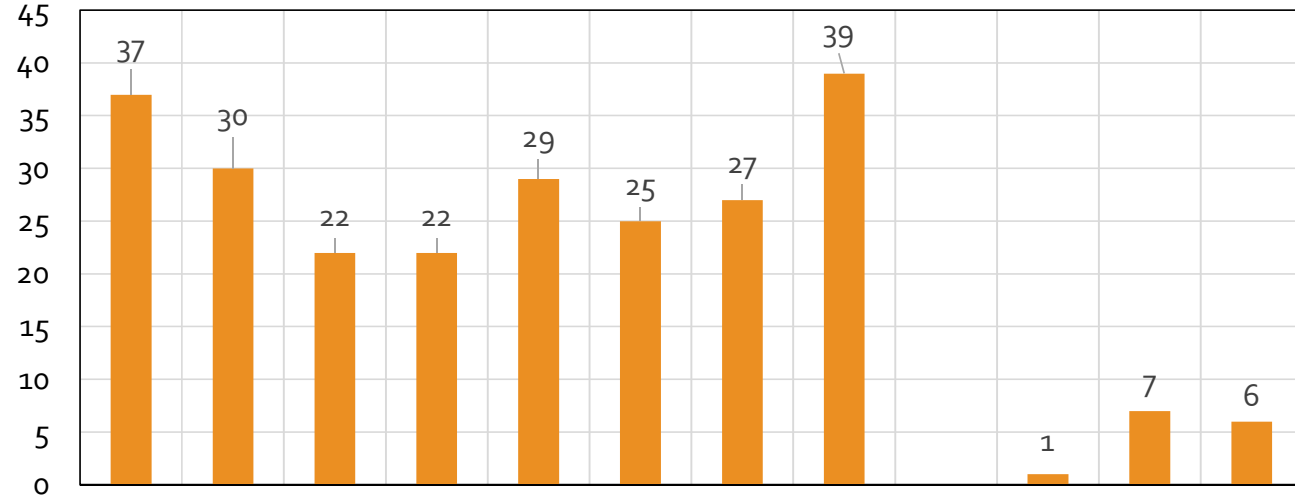


年度別事業実績

年度別	協力施設	実施地区	登録者数	延実施回数	延利用者数
<u>○生活支援型</u>					
平成28年度	4か所	8地区	75人	127回	1,613人
平成29年度	6か所	12地区	108人	268回	2,511人
平成30年度	6か所	12地区	108人	294回	2,456人
<u>○生きがいつくり型</u>					
平成30年度	1か所	1地域	サロン参加者等	7回	148人

利用者アンケートから

ドライブサロンを利用して、変わったこと



自分の目で見て買い物ができる楽しみが増えた
新鮮な生鮮食品を買うようになった
自分で料理をすることが増えた
外出をする機会が増えた
人と話をすることが増えた
新しい友達が増えた
体調や気持ちの面で良くなった
1週間の楽しみが増えた
デイサービスの回数が減った
運転免許証の返納をしなくなった
今後、運転免許証の返納を考えている

法人アンケートから

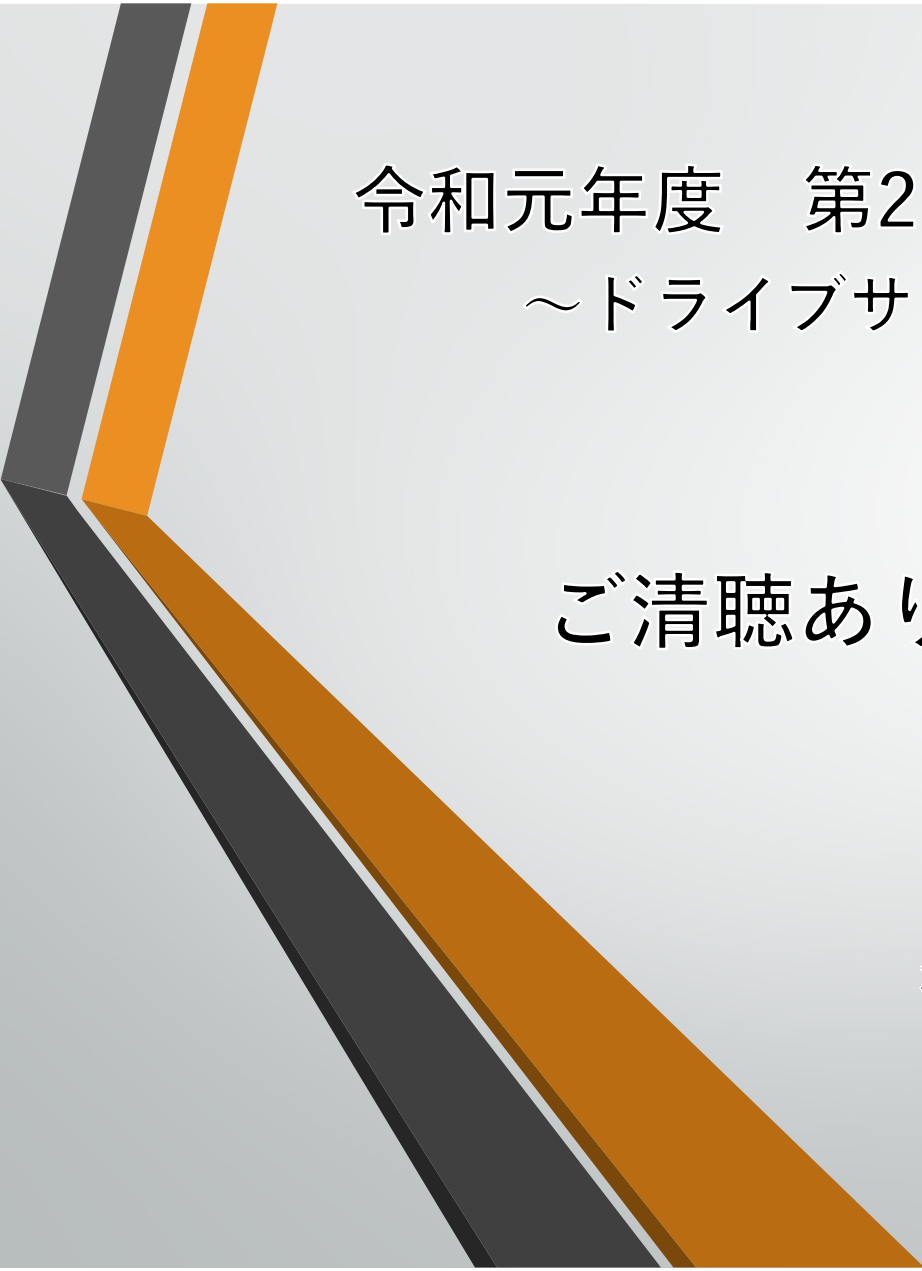
○法人内での変化について

【地域とのつながりについて】

- ・ 地域の方と顔見知りになることで、職員が地域住民のことを気にかけるようになり、地域住民の方も施設のことを気にかけてくださるようになった。
- ・ 地域とのつながりが再構築され「開かれた施設」になってきた。
- ・ 顔なじみの方も増え、賑やかなサロン活動を通して地域住民と職員との交流が図られている。
- ・ 利用者との会話の中で地域での暮らしぶりが具体的に見えてきた。
- ・ 地域とのつながりの大切さを感じている。

【職員の変化について】

- ・ 職員が地域貢献について関心を持ち始めている。
- ・ 職員に地域貢献を行っているという自覚が出てきた。
- ・ ドライブサロン利用者との交流を通して新たな地域ニーズが見えてきた。
- ・ 利用者に対して何かできないか考えるようになってきた。
- ・ 広報誌に掲載され、地域の方に声をかけられるなどイメージアップにつながった。



令和元年度 第2回九州厚生局地域共生セミナー
～ドライブサロン事業の取組について～

ご清聴ありがとうございました。

社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会